

上口保育園・住吉保育園 交流保育計画書（積雪なしの場合）及び実績等

資料①-1

2月8日（金） 場所：上口保育園 天気：雪 担当：上口・住吉保育園		反省・評価	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 平成32年度から、新しい園舎や友達と園生活を送ることを知る。 それぞれの保育園の友達を知り、一緒に遊ぶことを楽しむ。 	参加年齢	4・5歳児
	<p>活動の流れ</p> <p>環境構成及び配慮</p>	備考（準備品等）	
<p>当日まで</p> <p>9:30</p> <p>10:00頃</p> <p>11:20</p>	<p>各園にて</p> <ul style="list-style-type: none"> 住吉保が上口保に到着する。 年齢別に活動する。 <ul style="list-style-type: none"> 交流理由を聞く 各保育園の紹介 自己紹介 遊戯室に集まる。 <ul style="list-style-type: none"> ①各保育園の歌を聞く。 ②体操「昆虫太極拳」 ③人数集めゲーム ④グループ決め ⑤歌「友達ができちゃった」 園内探検をする。 水分補給をする。 時間があれば自由に遊ぶ。 住吉保育園児は排泄を済ませる。 遊戯室に集まりお別れの挨拶後別れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成32年度から両園が統合され、新しい園舎や友達が増えることを話し、交流に期待を持ちながら当日を迎えられるようにする。 初めての園舎や初めての友達に出会った喜び・ドキドキ感に共感しながらすすめていく。 年齢により翌年の就学や交流など、話の内容が異なってくるため年齢別で活動をする。翌年からの交流へ期待が高まっていくように年齢に応じた進め方を工夫する。 保育園の紹介は、保育士が中心となりながら行う。 恥ずかしがる子には、保育士が言葉を添えながら少しでも話せた喜びが感じられるよう関わる。 全員の友達の顔が見えるように座ったり、徐々に馴染んでいくように活動内容を工夫したりする。 互いの園児が触れ合いながら楽しむことが出来るゲームをする。 住吉保4歳児は7名のため多人数の中で委縮しないよう5歳児と一緒に行動できるよう配慮する。 <ul style="list-style-type: none"> 9グループ…7~8人で(住吉保2人) グループが出来たことを喜び、“仲良くなりたいな”という気持ちを込めてみんなで手をつないで歌う。 園内探検で使うペンダントは、迎える気持ちを育てるねらいと混雑を考えて住吉保のみとする。 園内探検へは、混雑しないよう時差をつけて出発する。待つ間、退屈しないように“なぞなぞ”をする。 階段など安全に十分気を付ける。 自由な遊びの中で、他園の友達に関心を持ったり一緒に遊ぶなど、主体的な関わりが持てるように見守る。また、遊びが見つからない子など、個々の様子を見ながら楽しい時間になるよう関わる。 次回の交流へ期待を持てるように話す。 	<p>参加人員</p> <p>上口保育園</p> <p>園児 47人</p> <p>大人 3人</p> <p>住吉保育園</p> <p>園児 19人</p> <p>大人 3人(写真係含む)</p> <p>ジャンボタクシー2台 3,640円</p> <p>準備品</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児と職員は各園の名札をつけて参加する。 ゲーム、園内探検に必要なもの 体操CD <p>住吉保育園</p> <p>着替え・ハンカチ・名簿</p> <p>携帯・各自水筒・カメラ</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ピアノ：本田 内履きズックはいらない(大人も)
<p>○上口保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回目の交流は、自分達の保育園で交流したので、行ったことのない片貝公民館グラウンドで遊ぶよりも子ども達がいっしょに遊んであげようという気持ちで楽しめたのではないかと思う。もし、片貝公民館グラウンドだったら、各自が遊ぶことに夢中になり交流保育まではならなかったような気がした。 子ども達は触れ合うごとに笑顔が見られたので良かったが1回目ということもあり照れている様子も見られた。 子ども達は、すぐに打ち解けていたので今後の交流は、身近な地域や戸外(新川文化ホールや水族館公園、ミラージュランド公園など)で交流するので良いかもしれない。 <p>○住吉保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> 年齢別ではなく一斉に活動したが問題なかった。 事前に細かく打ち合わせをしていたため混乱なくスムーズだった。水筒も持参してよかった。 他園の友達と言葉を交わす、触れ合う、一緒に考えるなどの活動を進めるにつれ、徐々に緊張がほぐれて行った。最後は「あの友達と話してみたい」「あの友達と一緒に手をつなぎたい」という姿も見られ、有意義な交流内容だった。上口保の“迎えたい”という心のこもった活動内容だった。 園内探検の出発時・到着時は、グループごとの時間差が大きく、司会者は大変だったと思う。 準備品など開催園に負担がかかったため、今後は事前準備の少ない活動で交流を楽しめたらと思う。 <p>○全体</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラは、データーのやり取りをしていると降園時に玄関での貼り出しに間に合わないこともある為、両園で撮って良かった。 今回の交流時間は、内容が盛りだくさんだったので、途中、急遽、水分補給の時間を設けた。時間的に長く感じたので1時間程度の交流で良かったのではないか。 インフルエンザと胃腸炎が流行する時期だったので、各園の体調や感染症の流行によって、交流する時期を検討していくとよいのではないか。 			

